

ブロッコリー機械収穫のための栽培法と丸系八つ頭の調整技術

県内では多くの野菜が生産されていますが、生産者の高齢化や後継者不足から生産量は減少傾向にあり、特に機械化が遅れている野菜品目では顕著です。そこで手作業の多い野菜品目について、機械化に取り組みました。

ブロッコリーでは、収穫期の揃いに優れた品種を用い、深植えと適正な土寄せ管理により、機械収穫に適した直立した草姿で一斉収穫できます。

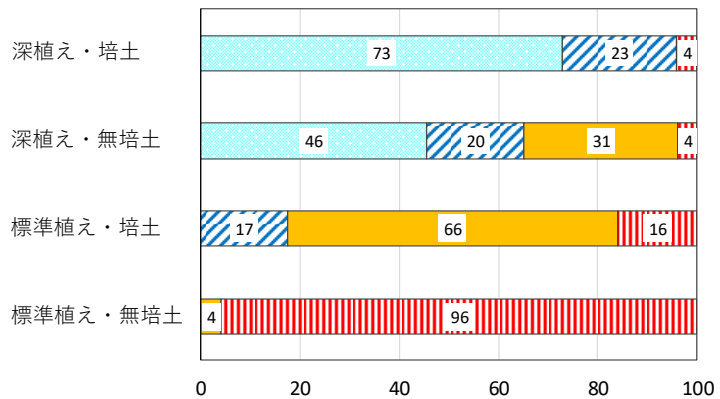
また、丸系八つ頭では、収穫した芋の調製作業に手持ち式の小型電動芝刈り機を利用することで、労働負荷が減り、根の調製時間が24%削減できます。



ブロッコリー苗の植付け深さと培土前の株姿

上：深植え（第1葉付け根まで）
下：標準植え（苗地表部まで）

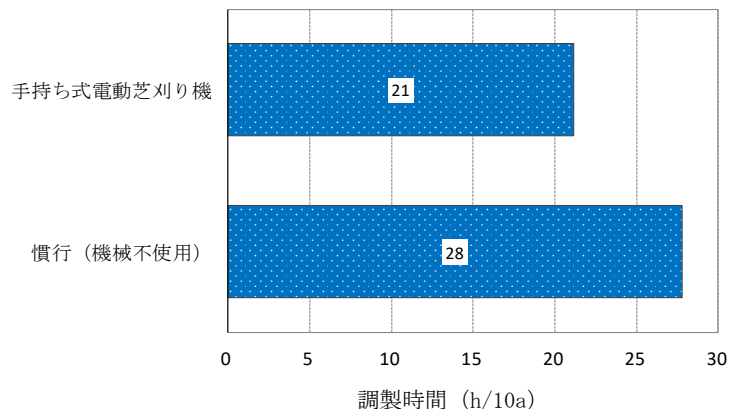
■ 程度0 (傾き 0~10度) ■ 程度1 (傾き 11~25度)
■ 程度2 (傾き 26~50度) ■ 程度3 (傾き 51~90度)



収穫時の株の傾きは「深植え・培土」区で少なく、機械収穫精度が高い



「丸系八つ頭」の省力的な根の調製（手持ち式小型電動芝刈り機使用）



根の調製時間は機械利用で慣行比24%削減できる